

〔科目名〕				〔単位数〕		〔科目区分〕	
生産管理論				2 単位		専門科目 展開科目	
〔担当者〕		〔オフィス・アワー〕				〔授業の方法〕	
風間 信隆		時間:授業開始前後 場所:教員控室				講義	
〔科目の概要〕							
企業が社会的に貢献し、信頼されるべき役割を果たし、経営そのものを安定化させるには、経営の品質を高めることが重要であり、日々の問題発見活動と問題解決が重要なポイントになる。何よりも「売れる商品」づくりはどのようにおこなうのか。また「売れる商品」をつくってもどのタイミングで売込みを図るのか。何をいつまでにどのタイミングで仕入れ、つくり、品質とサービスの確保をおこなうのか、見込みと受注の割合はどの程度にするのか。生産事業でおこなう際に考えるべき、知っておくべき点は多い。こうしたものづくりの理論と手法を学ぶ。							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕							
生産管理論は基本的に製造業の効率化・競争力強化を目指すものであるとはいえ、ここで学ぶ生産管理の基本（顧客志向の効率経営）はサービス業や非営利組織（NPO）、非政府組織（NGO）の経営にも応用可能である。これらすべての組織の存続・発展には顧客価値の創造が不可欠であるからである。							
〔科目の到達目標〕							
日頃の規則正しい生活にも共通する生産管理の基礎理論や基礎概念ないしものづくりの基本的エッセンスを理解できるようにする。このものづくりの強靱化こそ、地域経済の発展ないし地域創世の基盤であり、東京一極集中のカギを握るといっても過言ではない。最終的にはこうした基礎的知識・思考方法を応用してのボトムアップ的な地域共創（local-creation）につながるものづくりの在り方を考察し、具体的に提案できるようになることを目指している。							
〔ディプロマ・ポリシー（DP）との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
	○				○		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕							
授業へのコメント・改善点があれば授業の際に申し出て頂きたい。受講者の感想・意見を取り込みながら授業の運営を心掛けたい。							
〔教科書〕							
富野貴弘著『生産管理の基本』日本実業出版社刊、2017年(以下「富野教科書」と略す)。 信夫千佳子編著『生産性のマネジメント』文眞堂刊、2022年刊(以下「信夫教科書」と略す)。							
〔指定図書〕							
授業時において適宜指示する。							
〔参考書〕							
授業時において適宜指示する。							
〔前提科目〕							
なし							

<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <p>学期末に定期試験を行う。中間レポートを課す。これらの評価に加えて授業への貢献・参加の程度も反映させて最終評価を行う。</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>大学での学修は、授業内容を単なる知識として「覚えていく」のではなく、授業内容自体を、「自ら考えていく」ための材料として、考える力を身につけ、伸ばしていくことが目指されている。その目的の達成につながるように、すなわち考える材料としての「現代企業論」になるような授業を行っていきたい。多人数の講義形式になると思うが、できる限り質疑応答も交えて、双方向のコミュニケーションができるように心がけるので、受け身の受講態度ではなく、積極的に授業に出席・参加してほしい。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>なし</p>	
授 業 スケ ジ ュ ー ル	
第 1 回	<p>テーマ(何を学ぶか): ものづくり企業の競争力(1)</p> <p>内 容: 生産管理からものづくりへ、企業の競争力とは何か?</p> <p>富野教科書・第1章 信夫教科書 第1章</p>
第 2 回	<p>テーマ(何を学ぶか):ものづくり企業の競争力(2)</p> <p>内 容: 日本のものでづくりの強みと弱みと日本のものでづくりの課題</p> <p>富野教科書・第1章および信夫教科書 序章 『ものづくり白書』(2024年版)2024 年版ものづくり白書 (ものづくり基盤技術振興基本法第 8 条に基づく年次報告) (METI/経済産業省)</p>
第 3 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 日本のものでづくりの課題</p> <p>内 容: 日本のものでづくりの人材育成の課題</p> <p>富野教科書・第1章 信夫教科書 序章 ものづくり白書(令和6年版)2025 年版ものづくり白書 (ものづくり基盤技術振興基本法第 8 条に基づく年次報告) (METI/経済産業省)</p>
第 4 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大量生産システムの誕生と進化(1)</p> <p>内 容: ものづくりの量産性の基礎とテイラーの科学的管理法</p> <p>富野教科書・第1章 信夫教科書 第1章</p>
第 5 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大量生産システムの誕生と進化(2)</p> <p>内 容: フォード・システム・GM のものづくりの意義と限界</p> <p>富野教科書・第2章 信夫教科書・第1章</p>
第 6 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大量生産・大量生産システムの限界と克服努力</p> <p>内 容: トヨタ生産システムの柔軟性と硬直性</p> <p>富野教科書・第2章 信夫教科書・第1章</p>
第 7 回	<p>テーマ(何を学ぶか): セル生産方式の展開と製品アーキテクチャとモジュール化</p> <p>変種変量生産への移行とアーキテクチャの変化</p> <p>富野教科書・第1章と第2章</p>

第 8 回	<p>テーマ(何を学ぶか): イノベーションと生産性</p> <p>内 容: 生産性のジレンマ、オープン・イノベーション</p> <p>信夫教科書 第6章</p>
第 9 回	<p>テーマ(何を学ぶか): デジタル化と生産性</p> <p>内 容: デジタル化と生産性、デジタル・ネットワーク化と第 4 次産業革命</p> <p>信夫教科書 第 7 章</p>
第 10 回	<p>テーマ(何を学ぶか): グローバルサプライチェーン (SCM)</p> <p>内 容: サプライチェーン・マネジメントと競争力</p> <p>信夫教科書 第8章</p>
第 11 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 品質管理</p> <p>内 容: 品質とは何か、品質管理の考え方、品質改善の歴史と TQC</p> <p>富野教科書・第3章 信夫教科書 第2章</p>
第 12 回	<p>テーマ(何を学ぶか): コスト管理</p> <p>内 容: 製造原価の把握と CVP 分析、生産性向上と改善活動</p> <p>富野教科書・第4章 信夫教科書 第1章</p>
第 13 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 納期管理</p> <p>内 容: 納期と競争力・ものづくりにおける工程管理</p> <p>富野教科書・第5章 信夫教科書 第8章「グローバル SCM と生産性」</p>
第 14 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 製品開発の基礎</p> <p>内 容: 製品開発と競争力</p> <p>富野教科書 第6章</p>
第 15 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 製品開発の競争力</p> <p>内 容: 高品質かつ効率的な製品開発</p> <p>シラバスに記載されている、科目の到達目標の解説 (再度)</p> <p>富野教科書 第7章</p>
試 験	<p>期末試験を行います。</p>